



2026

これでいいのか？

崩壊寸前の

介護保険

高齢になっても安心して暮らすために・・・

介護保険制度が施行されて26年。3年ごとの改定の度に「負担増と給付抑制」が繰り返されてきた介護保険制度の不備を、院内集会等で厚生労働省に改善を求めてきました。2024年の改定では訪問介護の基本報酬が引き下げになり、介護事業者の倒産は後をたちません。このままでは「制度があってもサービスなし」の未来がやってきます。もっとわたしたちの声を届けよう！

日時：2026年 **11**月**14**日（土）

14：00～16：30 オンライン同時開催予定

*会場が地下のため、回線トラブル時は録画配信致します。ご了承ください。

場所：横浜にぎわい座

B1F のげシャーレ（小ホール）

横浜市中区野毛町3丁目110番1号

アクセス：JR線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車、徒歩3分

JR 京浜東北・根岸線の場合：南改札を出て右（西口方面へ）

横浜市営地下鉄の場合：改札出て左へ「南1番」出口から直進80m

京浜急行線「日ノ出町」駅下車、徒歩7分



プログラム

基調講演：上野千鶴子さん

パネルディスカッション：現場の声を届けよう！

お申し込みは



パネリスト

コーディネーター：若林智子さん

(NPO法人 ピッピ・親子サポートネット)

岡田朋恵さん（一般社団法人 市民連帯経済つながるかながわ）

今澤てる子さん（ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合）

佐々木元子さん（公益社団法人 認知症の人と家族の会）

加藤陽子さん（神奈川ローカルネットワーク）

石塚幸子さん（労働者協同組合 ACT・人とまちづくり）

上野千鶴子さん



介護を立て直す5つの提案！

1. 訪問介護員の人材確保は待ったなし
2. 基本報酬を上げない限り、介護に未来はない
3. 要介護1・2の総合事業移行に反対！
4. 利用者負担の引き上げに反対！
5. 制度の根幹を揺るがすケアプラン有料化に反対！

社会学者・東京大学名誉教授・上野千鶴子基金代表理事・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）前理事長。1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。専門は女性学・ジェンダー研究、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。『当事者主権』（中西正司と共著、岩波新書）、『ケアの社会学』（太田出版）『おひとりさまの老後』、『おひとりさまの最期』（朝日新聞出版）など著書多数。

主催：介護の崩壊をさせない実行委員会
協賛：生活クラブ共済連

介護の崩壊を
させない
実行委員会

第7回 介護フォーラム 2026 賛同のお願い

介護保険制度が始まって 26 年。3 年ごとに制度が改定され、そのたびに当初の理念とかけ離れたサービスの実態が拡がりました。団塊の世代が 75 歳以上になった昨年、社会保障審議会介護保険部会において、次の改定に向けた議論が行なわれました。私たちは、ケアプラン作成は制度利用の最初の「ソーシャルワーク」だと考えます。しかし、制度改定の議論では、財務省の「サービスの一つ」とする見解が強く反映され、住宅型有料老人ホームのケアプラン有料化という道が開かれてしまいました。介護保険サービスの利用者 2 割負担の対象拡大は、社会保障審議会介護保険部会の中でも慎重論が多く、利用者や家族の反対、物価高の影響や政治的判断などから見送られ続け、結論が出せませんでした。2026 年 6 月に成立した改正介護保険法では、介護事業所ゼロ自治体が増え続けるなか、中山間地域や人口減少地域での介護サービスの維持をはかるため、「特定地域サービス」が新設されました。介護人材の確保が特に難しい地域で、人員配置基準の弾力化や月単位の定額報酬の導入が行われますが、自治体の予算如何でサービスの制約を受ける恐れがあり、保険料を払っていても「保険給付」として担保されない場合もあるという制度矛盾をはらんでいます。

介護保険給付は重度者にシフトさせ、それ以外の要支援・要介護者は、「サービスが足りなければ自費で賄え」という方向に向かっているのは明らかです。100 歳まで生きる時代だからこそ、在宅生活を支える生活援助は重要です。長らく保険料を納めてきたのに、「給付」としてのサービスは重度でなければ使えず、自費でサービスを賄うか、家族がいても離職して介護するしかない…そんな日が遠からずやってくるでしょう。一人暮らしの高齢者は増加の一途、家族の負担に頼り続ける社会モデルは、既に限界なのです。

法の理念である「介護の社会化」からますます遠ざかる介護保険制度。地域共生社会実現のために、政府は、介護職が活躍できる十分な報酬を保障し、そのための財源確保を真剣に検討する責任があります。事業所、当事者、介護家族など多くの市民でこの問題を共有し、現場から声を上げ、国民の生活実態に即した制度の改善を求めていく必要があります。

介護の崩壊をさせない実行委員会は、今年も 11 月に第 7 回「介護フォーラム」を開催します。大勢の力を結集し、制度改悪に抗議の声を上げましょう。この趣旨をご理解いただき、ぜひ介護フォーラムへの賛同をお願いします。

2026 年 7 月 介護の崩壊をさせない実行委員会

賛同金振込先

郵便局（ゆうちょ銀行） 振替口座 00170-2-565491

他金融機関からの振込用口座番号 〇一九（ゼロイチキユウ）店（019）当座 0565491

口座名義：特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい

*お願い 通信欄に「賛同金」と明記してください

賛同・参加申し込み

3 つの賛同方法いずれかでお申し込みください。 ① FAX：03-5302-0394

② メール：kaigo.exco@gmail.com ③ QR コードからフォーム



お名前または団体名			
ご担当者名（団体の場合）			
賛同口数	(一口 2000 円) ☐	合計金額	円
ご連絡先	tel mail		
介護フォーラムに参加	します ☐ しません ☐ (※○で囲んでください)		
参加者名		参加人数	人
参加方法	会場参加 ☐ オンライン (アドレス送付先メール：) ☐		